

# 先輩に続け



株式会社ネオビエント  
小倉 光祐(おくら こうすけ)  
2014年3月 総合科学部社会創生学科卒業

## 経営理念に惹かれ

大学3年生の12月、世間では就職活動が本格的にスタートした頃。私は、とりあえず就活サイトで各企業にエントリーし、大型の合同企業説明会に参加することで、就活をやった気になって満足しているダメな就活生でした。

そんな時、ひょんなきっかけからネオビエントのホームページを見る機会があり、そこには大きく「徳島から元気な未来を創ります」という経営理念が書かれていました。ゼミでは地域活性化や街づく

りなどを中心に地域社会学を学んでいたこともあり、「ここだ!」と思い、指導教員からアドバイスを受けて、ネオビエントの採用試験を受けました。その後、運良く採用となり、現在まで勤めています。

## 卒論の経験

ネオビエントは県立施設の管理運営や、イベント企画、とくしまマルシェの運営などを行っています。入社して1年目から4年目まで

はネオビエントが管理運営する大型公園施設「あすたむらんど徳島」の企画グループに配属され、園内でのイベントを担当しました。

当然のことながら企画書の締切前やイベントの本番前は忙しく、帰りが遅くなることもありま。そんなとき心の支えになったのは卒論の経験でした。提出直前の1カ月間は常に卒論のプレッシャーが頭をよぎり、直前の1週間は追い込みで、ろくに睡眠をとれないほど追いつめられていました(ちなみに評価は「可」でした)。当時のことを考えれば、仕事が忙しく帰りが遅くなっても、「卒論よりまし」と気持ち楽になります。とくに入社して1〜2年目の頃は、卒論の経験が自信となり、なんとか乗り越えることができました。論文を書くというのは、大学以外ではまずできない貴重な経験なので、学生のみならずには是非頑張っておきたいと思っています。

## 営業マンとしての仕事

5年目からは本社に異動になり、県外のショッピングモールや

広告代理店などに子ども向けのイベントを提案する営業マンとして働いています。

営業マンといっても、イベントが成約すると制作部と連携しながら準備を進め、当日の運営まで行きます。自分が提案したイベントが成約し、開催中に参加者の喜ぶ顔やクライアントの満足そうな顔を見ると、達成感がありとてもやりがいのある仕事だと感じています。今年からは共同事業体の一員として阿波おどりを手掛けることにもなりました。徳島の財産である阿波おどりに携われることに感謝しながら、成功させるために全力を尽くしたいと思っています。

## 徳島で働く

私は徳島で育ち、徳島で就職する道を選びました。徳島は他県と比べると田舎で就職の選択肢が少ないように思いますが、いざ働いてみると学生時代には知らなかったおもしろい会社がたくさんあることに気づきました。都会よりも規模が小さい分、自分自身の仕事

薬学部 薬学科 4年  
澤田 侑弥(さわた ゆうや)

## My Life Situation

部活: 軟式テニス部  
趣味: 旅行

国立大学の薬学部が主体となつて行う高度先導的薬剤師養成プログラム事業に2回、参加した澤田さん。「進学するか、就職するか、将来を考える上でいきつかけになる」と思って参加しました。1回目は大阪大学が主催で、ワクチンの開発製造を行う香川県の微研財団(一般財団法人大阪微生物研究会)を見学し、2日目は徳島大学のキャンパスで東大、阪大、岐阜大など多くの大学が参加して、ディスカッションを行いました。参加者は院生も含め、学年もバラバラ。ディスカッションのために仮のテーマを決め、目的達成から逆算し、いつまでに何をどうするかを具体的に話し合います。僕の班は医学部のよ

うに薬学部も研究と実臨床を表裏一体のものとして実践するにはどうすればいいかを話し合いました。薬学部は研究は研究、臨床は臨床でわかれているところが多いので、そこを医学部のように基礎研究と臨床を合わせるにはどうすればいいかを考え、5年、10年のスパンでどうするかを話し合えたのは、いい経験でした。

## 他大学とのつながりから情報収集できるのが魅力

2回目は熊本大学が主催で、実習先は鹿児島県。空き時間には熊本大や長崎大の学生がガイドをしてくれて、観光も楽しんだ

そう。「他の大学と横のつながりが出来るのも魅力です。社会に出たとき、業界に知り合いがまつたくいないという状況は、ちょっと心細いかな。だから今のうちいろいろな分野の人と知り合っておきたいと思っています」。

参加した学生たちとは今でもたまに話をするのだとか。就活中の人には就職先の候補や、進学した人は研究内容など、「いろいろな立場の人の意見を聞いた上で、自分の将来を考えたい」という澤田さん。こうした機会に参加することで、情報収集につながるだけでなく、将来の自分を投影できる人と出会いがあるかもしれません。

# My Campus Life

## 高度先導的薬剤師養成プログラムに参加 いろいろな立場の人の意見を聞いて、 自分の将来を考えたい



澤田さんは2018年春号の『とくtalk』でも紹介させていただいた山崎哲男先生の研究室でALSなどの難病治療に効果が見込める研究を行っている。



初めて参加した大阪大学主催のときの様子。



鹿児島県で行われた国立17大学による「高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンス教育研究プログラムの共同開発」の様子。澤田さんはこうしたプログラムを活用し、各地の研究施設や病院などを巡って、レポートをまとめています。



あすたむらんど15周年記念イベントでMC。



ショッピングモールで実施した『こども自動車教習所』。

や頑張りが地域に与える影響も大きいと思います。「鶏口となるも牛後となるなかれ」。県外での就職を考えている方は、徳島での就職も一度検討してみてはいかがでしょうか。